

第3回 東静岡地区まちづくり協議会 議事録

1. 日 時 令和7年1月30日（木）10:00～11:30

2. 場 所 静岡市役所 静岡庁舎 新館17階 171・172 会議室

3. 出席者 別紙 委員名簿のとおり

4. 傍聴者 17人

5. 報告

(1)「まちづくりアイデアコンペ in 東静岡」結果報告

意見無し

コンペ審査委員長として、遠藤委員からの総評

・受賞作品は大きく分けると3種類あった。

① アリーナから周辺に活動がうまれ、賑わいの拠点が広がる提案（最優秀賞）

② 建物を更新し、環境や防災の機能を更新する提案（優秀賞）

③ 移動性や回遊性の提案

・意欲的な案が多く、当日も盛り上がった。

(2)「静岡市アリーナ基本計画」

意見無し

6. 議 事

「東静岡地区まちづくり基本構想（骨子）」

・（田宮委員）静岡市は南北の道路が弱く、長沼大橋辺りで渋滞が生じている。今後、アリーナ等の建設に伴って車の利用が増加すると思うので、車の処理や駐車場について検討してほしい。

→（事務局）おっしゃられたように、長沼大橋で渋滞が発生しており、国道1号の交差点と静岡鉄道の踏切が渋滞発生の一因であると考えている。長沼大橋の架け替えを含んだ計画をしているが、課題が多くあり、国交省と協議している状態である。市としても渋滞対策を進めたい。アリーナへのアクセスは車でなく公共交通機関を利用させていただくことを考えており、一般車用の駐車場を設けない予定である。交通形態も考えながらまちづくりを考えたい。

→（遠藤委員）まちづくり構想（骨子）の「③都市交通」に該当する内容だったと思う。骨子なのでダイジェストに示されているが、今後、田宮委員が懸念している項目が整理されると思う。

- ・(柴委員)「アリーナ等によるまちの活性化」と「図書館の静かな雰囲気」が相反するものであるように思うが、どのようにマッチさせるのが心配である。その点について、どのように考えているかをお聞きしたい。
- (平形委員)新県立図書館は、「図書館の枠を超えた学び・交流し、創造する場」を目指している。また、アリーナのイベントに関連した展示などの実施を検討しており、図書館とアリーナのどちらにも人を呼び込むことを考えている。学生や地元の人に来ていただくために、現在の駐車場や駐輪場の台数を落とすことなく整備する予定である。
- (遠藤委員)静かな図書館のニーズがある一方で、世界の潮流では大空間の中で本を楽しめる図書館や賑わいの場が併設された図書館もある。そのことを踏まえ、静岡らしい県立の図書館ができると良いと思う。平形委員の話を伺い、図書館とアリーナの相乗効果が大切になると感じた。
- ・(平井委員)目指す将来像に「非日常と日常が融合した新時代のまちづくり」という記載があり、大切な視点であると感じた。図書館からは日常性を感じる一方で、アリーナは非日常感が強い。そのため、アリーナの日常使いに関する内容をコンセプトに組み込むことで市民の方も利用しやすくないのではないか。ペDESTリアンデッキの上部を賑わいの創出に活用できるのではないか。地域企業との連携を図り、公共交通の利用を促すのはいかがか。鉄道利用を促進する仕組みや仕掛けを考えられると良いと思う。
- (事務局)アリーナの日常的な空間として、アリーナの基本計画の「まちとアリーナの一体化」に関する説明では、飲食や物販などをアリーナと一体的にする考えが示されており、日常的な空間の整備も併せて進めたい。ペDESTリアンデッキは移動するためのものとしてだけでなく、まちづくりの中で有効的に活用したいと考えている。公共交通に関しては、アリーナの運営事業者や周辺事業などと連携し、公共交通を利用させていただくことを考えたい。
- (遠藤委員)コンペの作品にも日常使いに関する提案があり、期待されているポイントであると思う。防災機能としてアリーナが機能するためには、市民の方にもアリーナを日常的に利用していただく必要がある。そのため、アリーナの日常使いは大切な観点である。
- ・(杉山委員)市長と長沼駅周辺の住民が意見交換をする場で市長から「アリーナが建設されても渋滞は発生しない」という発言があったことに対して、「まずは現状の渋滞を解消してほしい」という声が上がった。「誰もが移動しやすく、住みやすいまちづくり」という記載があるが、現状は南北を移動する時に急な坂を上らなければいけない。自転車でも移動しやすい環境にしてほしい。例えば、静岡大橋はエレベーターに自転車を持ち込むことが禁止になっているので、ペDESTリアンデッキでは自転車が通行できる環境にしてほしい。用途地域の変更については、前回の話し合いの場に変更することに反対の方が不在だったので、再度話し合う機会がほしい。
- (事務局)渋滞解消については、静岡県警と信号のサイクルの変更を協議しており、少しずつ渋滞を解消したい。自転車も車と同じくくりになることから、現段階でペDESTリアンデッキでの自転車の利用について述べることはできないが、自転車で回遊しやすい環境を考えたい。用途地域については今後も地域への説明を続けたい。

- ・(柴委員) 自転車のまちの割には自転車置き場が少ない。自転車を置いてはいけないという考えから、置いて良いという考えに改めるべきではないか。
 - (遠藤委員) 電動キックボードなど、色々なところに派生する問題にもなると思う。ご意見として受け止めていただければと思う。
 - (柴委員) 置いて良いという考えに転換すれば、駐輪場に関して色々な対応策ができると思う。
-
- ・(中村委員) グランシップや図書館、アリーナのイベントの同時開催を考えたときに、東静岡駅のキャパシティは足りるのか。人の流れを検討する必要がある。国道に歩道がなく、車社会になっているので「人」を大切にしてもらいたい。高齢化を考慮し、平面的な移動を考えていただきたい。
 - (事務局) 3施設のイベントが同時開催した場合のシミュレーションは実施していなが、アリーナ単体でのシミュレーションは実施し、現状の駅のキャパシティで問題ないことを確認した。すべてをハード対策にするのではなく、アリーナの退場時間に時差をつけるなどの運営面での対策を関係者と共に考えたいと思っている。
-
- ・(柴田委員) 中村委員から歩道がないという話があり、東静岡駅より西側に一部歩道が狭い部分があるが、南側は比較的に広がっている。無電柱化などによってできるだけ歩道を広くすることを考えているので、ご理解いただければと思う。国道1号は周辺に店舗が並んでいるので、道路の拡幅は難しい。国道1号とその周辺の道路や鉄道、自転車など色々な検討を静岡市と進めたい。「非日常と日常が融合した新時代のまちづくり」が実現すると良いと思う。渋滞の話など、新たなまちづくりによって既存住民にマイナスの影響がないように行政と一緒に検討していきたい。
 - (遠藤委員) 移動しやすい環境づくりは、将来的に大きなプロジェクトになる項目であるように感じた。
-
- ・(大木委員) アリーナや新図書館などの工事が集中するにあたって、安全性や近隣の道路環境への影響を伺いたい。
 - (事務局) 地域の方の生活環境に配慮しながら工事を進めたい。
-
- ・(田宮委員) 南北の公共交通機関で考えていることがあれば教えていただきたい。
 - (事務局) 公共交通は、東静岡地区から各拠点を結ぶように考えていきたい。東静岡駅発着のバスが少ない中で、東静岡地区と周辺を結ぶ移動手段を考えていかなければならないことを課題として認識している。
 - (田宮委員) モノレール等の整備は考えているのか。
 - (事務局) 規模の大きいハード整備を行うことは考えていないが、将来の新たなモビリティを想定して南北軸の強化を進めたい。

- ・（遠藤委員）本日の資料を骨子として公表するという事でよろしいか。

→異論なし。

- ・（遠藤委員）渋滞解消など、既存住民の生活を将来のまちづくりの中で担保することが求められていると感じた。

7. その他

「今度の進め方」

- ・（平井委員）次年度もまちづくり協議会を存続させるということだが、まちづくりの視点に「子ども」「若者」というキーワードが入っているので、若年層の協議会への参画を検討していただきたい。

→（遠藤委員）ご意見ということで、よろしく願いしたい。